



**安全性・利便性が向上
市道佐世線**

平成13年から事業を進めてきた市道佐世線の改良工事が終わり、3月18日には、安全祈願祭と竣工式が行われました。

市道佐世線は、主要地方道の玉湯吾妻山線と松江木次線を結ぶ幹線で、整備区間は、西阿用地区内の延長1,280メートル、幅員7メートルの2車線で、事業費約5億円を

改良工事竣工

かけて完成しました。このたびの供用開始により、対面通行が可能となり生活道路としての利便性が向上したほか、児童の通学路としての安全性も向上しました。安全祈願祭に続き、関係者や地元住民ら約100人が記念パレードで完成を祝いました。

ふるさとの風物詩

今年で記念すべく10周年を迎えるJR木次線のトロッコ列車「奥出雲おろち号」が運行開始となり、4月7日、その出発セレモニーが行われました。

木次線強化促進協議会会長

祝10周年 今年も発車オーライ

を務める速水市長がいさつし、「木次線の利用促進と交通人口の拡大につながつてほしい」と、トロッコ列車の発展を願うとともに、「斐伊川堤防の桜や奥出雲の自然を十分に堪能してください」と、乗客を歓迎しました。

運行初日となった当日は、15万人目の乗客（鳥取県八頭町の女性）を迎え、二重の喜びとなりました。

奥出雲町と雲南市で組織されるトロッコ列車活用協議会では、本年度よりJR木次線「木次駅」三井野原駅間の10駅に、それぞれ奥出雲神話

にちなんだ「八岐大蛇（やまたのおろち）」などの愛称をつけ、利用の拡大を図ります。



関係者によるくす玉割りで運行開始を祝いました

雲南ニュース

市内で活動する文化協会の統合・元化と、各種活動の効率化をめざして「雲南市文化協会」が発足し、3月18日、その設立総会がチェリヴァホールで開催されました。

総会には、これまで準備にあたってこられた各支部の代表らが出席し、初



あいさつされる景山会長

代会長には、景山道隆さんが就任。「重責を感じるが、雲南市が文化あふれるまちとなり、発展するよつ活動していきたい」と新たな決意を話されました。

総会に続き、千葉大学大学院人文社会科学研究科の三浦佑之教授を招いて、「出雲神話と神々の世界」と題した記念講演も開催されました。

雲南市文化協会役員名

- (敬称略・順不同)
- 会長 景山 道隆 (三刀屋支部)
 - 副会長 松田 勉 (大東支部)
 - 理事 土江 博昭 (教育長)
 - 久我 俊子 (加茂支部)
 - 坂本 暢子 (木次支部)
 - 堀江 秀幸 (吉田支部)
 - 松浦 保潔 (加茂支部)
 - 藤原 文雄 (吉田支部)
 - 事務局 市役所 生涯学習課

**雲南市文化協会発足
文化のまちとしての発展を願う**



市民活動の拠点に 大東地域交流センター竣工

3月28日、大東町大木原で雲南市大東地域交流センターの竣工式（大東地区振興会、同地区連合自治会、大東公民館主催）が行われ、地元住民や関係者ら約130名が出席しました。

鉄骨平屋建ての同センターは、会議室（洋室3、和室2）や研修室などを備えており、市が総額3億9,400万円をかけた建設したものです。

竣工式に先駆け行われたセレモニーでは、2本のしだれぎくらの記念植樹、テープカット、記念碑除幕などが行われました。

式では、大東地区振興会の矢壁敏宏振興会長が「長年抱いてきた地域住民の願いが実現され、大変喜んでいきます。この施設を大いに活用し、ここから地域のにぎわいを創出していきましょう」とあいさつされました。

式終了後には、施設の見学も行われ、参加者らは施設内部等を見て回りました。

島根県知事選挙・島根県議会議員一般選挙 開票結果

4年に1度の統一地方選挙（島根県知事・島根県議会議員）の投票が4月8日（日）に行われ、即日開票されました。開票結果は次のとおりです。

島根県知事選挙 4月8日執行

候補者名	得票数	
	島根県	雲南市分
当 みぞぐち善兵衛	306,254	25,227
次 小笠原ネンコウ	73,777	4,746
投票率	65.86%	83.23%

島根県議会議員一般選挙 (雲南・飯石選挙区) 4月8日執行

候補者名	得票数	
	雲南・飯石選挙区	雲南市分
当 上代義郎	11,184	8,421
当 井田のりよし	8,605	8,360
当 ふくま賢造	7,772	7,378
次 足立昭二	6,958	6,393
投票率	82.94%	83.19%